

## 第5回 日本安全運転・医療研究会 報告

渡邊 修

第5回 日本安全運転医療研究会 大会長  
東京慈恵会医科大学附属第三病院  
リハビリテーション科

2021年12月5日 WEB形式にて、第5回 日本安全運転医療研究会を開催することができました。本研究会は、毎回、対面形式にて熱心な議論が交わされてきましたので、是非、第5回も対面でも準備をしてきたのですが、新型コロナウイルス感染症蔓延のために、およそ1年の延期を試みましたが、対面での研究会はかなうことできませんでした。しかし、それでも、当日は、各ご専門領域より、266人の方にご参加いただくことができましたこと、ひとえに会員の先生方のご支援のたまものであり、深く感謝申し上げます。

本研究会は、下記の一覧表にありますように、会長講演、運転指導基礎講座5演題、特別講演2演題、そして来るべき学会化にむけたシンポジウムでの6演題、そして一般演題として、35演題のご発表をいただきました。会長講演では、運転に必須な高次脳機能と運転事故との関係が説明されました。運転指導基礎講座では、障害者および高齢者の自動車運転再開を指導する上で必要な知識を整理していただきました。特別講演(1)では、警察庁交通局運転免許課の仲村健二様より、高齢

運転者による交通事故の発生状況、認知症と運転免許制度、高齢運転者による事故防止に向けた制度改正、自主返納その他の関連制度、運転免許の行政処分の対象となる「一定の病気等」についてご説明をいただきました。特別講演(2)では、水野幸治先生(名古屋大学工学研究科機械システム工学専攻)より、四輪車対自転車への出会い頭事故について、ドライブレコーダデータおよびドライビングシミュレータから緊急時のドライバの応答に関するご研究結果をご教示いただきました。また、シンポジウムでは、本研究会の学会化を前提に、下表のように多方面からの御提言をいただきました。

一般演題は、35演題あり、事例報告、各種運転能力評価方法に関する提言と考察、MCI症例の問題点、COVID-19の運転支援への影響、自動車運転支援に関する実態調査、視覚障害と運転能力との考察、交通死亡事故の原因と効果的対策、改正道交法2022の影響などがあり、いずれも、本研究会(学会)にとって重要なテーマのご発表でした。

○会長講演	自動車運転と脳機能	渡邊 修	東京慈恵会医科大学附属第三病院
○運転指導基礎講座			
運転指導の手順		小林康孝先生	福井医療大学大学院保健医療学研究科
全身評価のポイント		加藤徳明先生	小波瀬病院 リハビリテーション科
評価・訓練の実際		小倉由紀先生	千葉県千葉リハビリテーションセンター
認知機能の低下、MCI事例への運転指導		上村直人先生	高知大学 医学部 神経精神科学教室
法制度のポイント		馬場美年子先生	慶應義塾大学医学部
○特別講演 (1)	高齢運転者等の交通事故実態と運転免許制度の改正について	仲村 健二様	警察庁交通局運転免許課 高齢運転者等支援室長
○特別講演 (2)	四輪車対自転車事故のドライバから見た発生要因	水野幸治先生	名古屋大学 工学研究科機械システム工学専攻

○シンポジウム ～本研究会の学会化に期待すること～		
学会化準備委員会からの報告	武原 格先生	東京都リハビリテーション病院
全日本指定自動車教習所協会連合会からの提言	横山雅之先生	全日本指定自動車教習所協会連合会
東京都医師会からの提言	吉本一哉先生	東京都医師会
運転免許センターからの提言	白岩淑子	神奈川県警察本部交通部運転免許本部
自動車改造	杉山光一先生	有限会社フジオート
東京都作業療法士協会からの提言	大場秀樹先生	東京都リハビリテーション病院

最後に、第5回 日本安全運転医療研究会に対し、13社(アライヴワーク株式会社、医歯薬出版株式会社、一般社団法人 交通事故被害者家族ネットワーク、医療法人社団 三成会 新百合ヶ丘総合病院、インターリハ株式会社、学校法人 衛生学園 東京衛生学園専門学校、株式会社 新興医学出版社、株式会

社 マネージビジネス、株式会社 三輪書店、コヤマドライビングスクール、特定非営利活動法人 東京高次脳機能障害協議会、古田総合法律事務所、有限会社フジオート、五十音順)の企業様の協賛をいただきました。本研究会報告を借りて、ここに深く御礼申し上げます。